

# センターからのお知らせ

## ◆予防啓発ポスターパネルを貸出します◆

横浜 AIDS 市民活動センターでは、横浜市内の学校や福祉保健センター等の公共機関や一般団体の予防啓発活動用に、掲示パネル教材を無料で貸出しています。「知ってる？エイズのこと。」「レッドリボンって何？」「U=Uって何？」「性感染症って何？」他、それぞれの内容をわかりやすく伝えるパネルです。複数枚セットでの貸出も対応しています。

詳しくはこちらをご覧ください。

センターのWEBサイトはこちら → <https://yaaic.gr.jp/>



## ◆図書貸出をしています◆

横浜 AIDS 市民活動センターでは、無料で図書の貸出もしています。

HIV・エイズ、性感染症、性教育、LGBT など様々な分野の書籍があります。

以下で図書一覧が確認でき、検索もできます。

<https://library.yaaic.gr.jp/>

センター内に試し読みができるスペースもあります。

貸出の際は本人確認のため身分証明書が必要です。



※センター開館時間 月・木・土曜日：11:00 - 17:00 水・金曜日：14:00 - 20:00  
休館日 日・火曜日 8/13~8/17 (夏季) 12/28~1/4 (年末年始)

## ◆令和6年度「世界エイズデーポスターコンクール」が実施されます◆

- ・応募締切日：2024年9月3日(火) (当日受付印有効)
- ・募集内容：一人ひとりがHIV感染予防に取り組むことを訴えるもの、HIV陽性者・エイズ患者への理解と支援を呼びかけるもの、HIV検査の受検を呼びかけるもの
- ・主催：公益財団法人エイズ予防財団 (厚生労働省委託事業)

実施要領と応募用紙、昨年度の入賞作品など、詳しくはこちらをご覧ください。

<https://api-net.jfap.or.jp/edification/aids/poster2024.html>



令和5年度 一般の部 最優秀作品

HIV・エイズ、性感染症の正しい知識・最新情報をわかりやすく解説！

ニュースレター 第174号  
(2024年7月24日発行)



横浜 AIDS 市民活動センター

〒231-0015 横浜市中区尾上町3-39 尾上町ビル9F  
TEL 045-650-5421 FAX 045-650-5422  
E-mail: [info@yaaic.gr.jp](mailto:info@yaaic.gr.jp)  
URL: <https://yaaic.gr.jp>



## HIVとは…

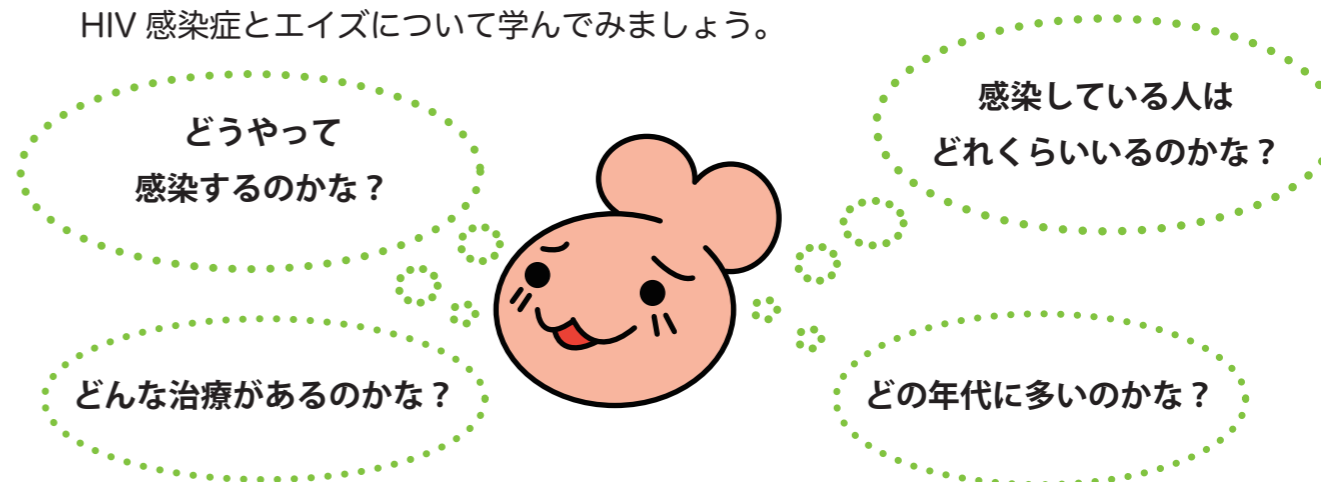
**H**uman **I**mmunodeficiency **V**irus の頭文字を取ったもので、からだを病気から守っている免疫力を低下させるウイルスです。

## HIVに感染すると…

何年もかけて免疫力が徐々に低下し、様々な病気にかかりやすくなります。そのうちの指定された病気を発症すると、**エイズ (AIDS)** と診断されます。

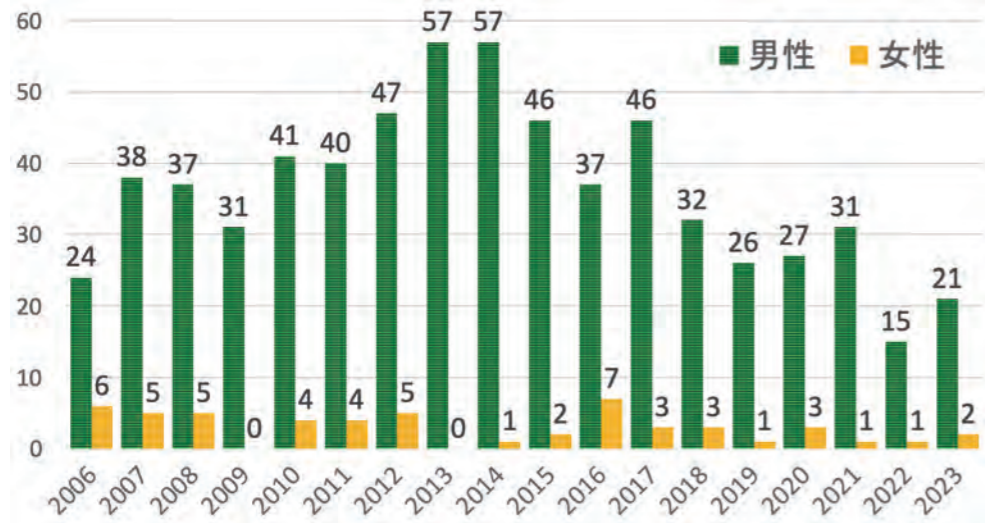
20世紀には、エイズ=死の病と考えられていましたが、近年は治療薬や治療の進歩により状況が変わっています。

HIV感染症とエイズについて学んでみましょう。

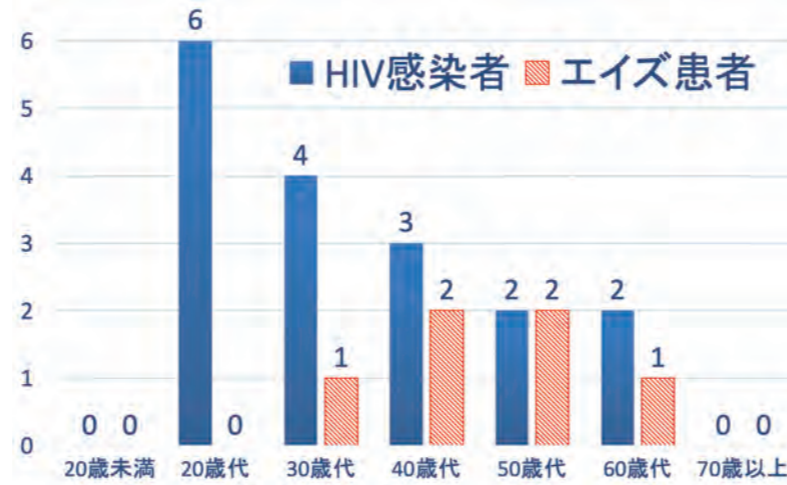


# 横浜市の感染状況

2023年には横浜市内で23人が新規に感染しています。その年代内訳は、20歳代が一番多くなっています。



横浜市内 HIV 感染者・エイズ患者数の年次推移



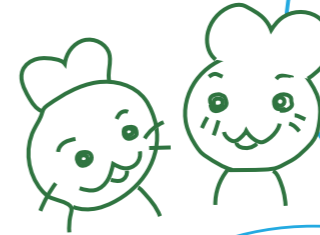
HIV 感染者・エイズ患者の年齢別報告数 (2023年 横浜市)

※参考資料：横浜市医療局健康安全課 令和6年4月 横浜市エイズ予防指針

# 感染の経路

## 性的接触による感染

最も多い感染経路です。適切なコンドームの使用は予防のための有効な手段です。



## 母子感染

母親が HIV に感染している場合、出産、母乳、胎内感染するケースがあります。

## 血液を介しての感染

HIV が混入した輸血や注射器具などの共用によって感染します。

# HIV 感染症の現在

## 治療の進化

1990年代半ばには HIV に対する治療薬が開発され、HIV に感染しても、エイズを発症することを抑えられるようになりました。

最初の頃は1日に20錠以上の薬を飲まなければなりませんでした。今では、1日に1回、1錠の薬での治療が可能になりました。

2か月に1回注射をするだけの治療もあります。

効果的な治療を受けて、血液中のウイルスを基準値以下に抑えられれば、性行為によって他の人に感染させることもありません。



1990年代

近年 ※イメージ画像です。実際の HIV 治療薬ではありません。



HIV はこのようなことで感染することはありません

咳やくしゃみ



お風呂やプール



食べ物・食器を共有した一緒に食事



握手



HIV はとても感染力の弱いウイルスなので、日常生活で人にうつしてしまう可能性は限りなくゼロに近いです

つまり、エイズを発症する前に HIV 感染を知り、適切な治療を受ければ、エイズを発症することなく、変わらない日常生活を送ることができるようになっています。HIV 感染の早期発見がますます重要になってきていると言えます。